

誠 至

【浦河小学校の教育目標】
「自ら学び心豊かに 自分の夢や
希望の実現に励む子の育成」
「かしこい子」「心ゆたかな子」「たくましい子」

発行：令和 3年3月22日

卒業おめでとう！

6年生の皆さん今までありがとうございました

とうとうこの時がやってきました。『卒業』。今日のこの日が来ることは、入学してきた時からわかっていたはずですが、いざ卒業が現実のものとして自分の目の前に現れた今、嬉しさと悲しさ、期待と不安が一気に押し寄せてきたのではないのでしょうか。

特に今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの行事が変更や縮小又は中止となり、本来できるはずだったことができなくなったりもしました。とても残念で悲しいことですが、このような試練はこれからの人生の中で、数多くあることと思います。そんな試練を乗り越えて力強く生きていかなければなりません。



とても仲が良く、いつも元気で、笑顔いっぱい みんなを盛り上げてくれた6年生。時には悩みながらもどんなことにも学級がひとつになり一生懸命頑張ってきた6年生。そんな6年生一人一人の姿が昨日のここのようによみがえってきます。6年生は学校生活の様々な場面で、全校生徒の先頭に立って活躍してくれました。最上級生として、そして浦河小学校の顔として、立派にやり遂げてくれました。行事はもちろん、児童会活動や毎日の生活の場面で常にリードしてくれました。そんな素晴らしい6年生の姿は決して忘れません。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございました。この6年間は、本当に様々なことがあり、家庭でも悩むことが多かったことと思います。でも、悩みが多かった分、大きな成長を感じたのではないのでしょうか。これからは、更にコミュニケーションが難しい年代に入ります。しかし、親の限りない愛情は絶対に伝わるものです。これからも、時には優しく、時には厳しく見守ってあげてください。今まで本当にありがとうございました。



『^{かん}難^{なん}汝^{なんじ}を^{たま}玉にす』

未来に向かって大きく羽ばたけ

人は苦しみにたえて努力してこそ成長する

さあ、4月からはよいよ中学生です。小学生の時のように親に頼りっきりでは困ります。大人へ一歩一歩近づいて行きます。自分のことは自分でできる中学生になってください。

これからみなさんが歩む道は、決して平坦で快適な道ばかりではありません。むしろ、激しい風雨にさらされる苦しい道もあれば、起伏の続く険しい道の方が多いかもしれません。

わたしが大切にしている言葉に、

『**難難汝を玉にす**』(かんなんなんじをたまにす)

ということわざがあります。

玉(宝石)は磨き上げてこそ、その美しさを得ることができます。逆に磨かなければどんなに素晴らしい原石でも光り輝くことはありません。人はあらゆる困難や辛いことを経験し学ぶことによって、はじめて立派な人格を得ることができます。人は苦しみにたえて努力してこそ成長する。と言う意味です。

最近、苦しいことやつらいことを避けて、楽な道ばかりを選ぶ人が増えているように思います。人生楽しければそれでよし、という考え方もあるかもしれませんが一度きりの人生です。「これだ」と決められた方向に向かって、困難を乗り越え、ようやくたどり着いたところに、自分の本当の生きる道があると思います。

常に高い理想や強い信念を持ち、二度とない青春を悔いなく、「失敗をしても、これで一つ成長が出来た」と考え、たくましく生きていって下さい。

これからの人生、世界でたった一つしかない、あなた方一人ひとりの大切な価値ある命を、一生懸命に成長させ歩いていくことを心より願っています。みなさんが限らない可能性を胸に、未来に向かって大きく羽ばたくことを期待しています。

卒業おめでとうございます！

第143回卒業生

荒山	暖陽	高木	陽太
池田	琥珀	高桑	茉桜
大崎	耀平	竹谷	智敬
大針	悠	田中	伶
岸本	暁季	所	龍吾
久保	結華	畑山	優介
窪田	紗弥	古川	心結
小松	遼晟	本間	心瑚
齊藤	幾斗	八十川	実祈
澤木	泰成	山川	藍唯
島ノ江	竜生	阿部	凌大
下屋敷	涉		(2学期まで在籍)

担任 熊谷 翔
成田 悠子
清水 香里

